

将来の情報専門職にとってのスキル：

シュトゥットガルトメディア大学の
新カリキュラム

マグヌス・フェファー
シュトゥットガルトメディア大学教授

- 私たちのスクールについて
- 変化のきっかけ
 - ボローニャプロセス
 - 学部方針の決定
- 最新のカリキュラム変更
- 結論と論点

私たちのスクールについて

- 応用科学の大学
 - 2001年に図書館情報大学と印刷・メディア大学が合併して誕生
 - 学生数5,000人以上，教授130名以上
 - 3学部
 - 印刷・メディア
 - 電子メディア
 - 情報・コミュニケーション

- 4つの学部課程
 - ビジネス情報学 (B.Sc.)
 - 情報デザイン (B.A.)
 - 情報科学 (B.A.)
 - オンライン・メディア管理 (B.A.)
- 4つの大学院プログラム
 - ビジネス情報学 (M.Sc.)
 - データサイエンス・ビジネス分析 (M.Sc.)
 - 国際ビジネス (MBA)
 - メディア・リサーチ (M.A.)

- (旧称：図書館情報管理)
- 7学期制の学部課程
- 学生数300人以上，教授9人
- シュトゥットガルトにおける図書館学教育75年の伝統
- 地域に同様の大学はない
 - ドイツには他の8大学にLISスクール設置

変化のきっかけ

- 1999 [ボローニャ宣言]
 - EU全体で大学の学修を統一的に運用するという決定
- 2004/05
 - シュトゥットガルトメディア大学は、学士号を6学期制の学部課程で授与することに切り替え
- 2011
 - 6学期制から7学期制のカリキュラムに変更
 - 望ましい履修モデルも変化
 - 従来は、学士+修士で「6+4」学期
 - 現在は「7+3」学期（「7+4」学期の場合も）

■ 条件

- 科目群におけるトピックス，学習成果，履修の道のを明確にすること
 - 個々の授業にはそれほど焦点化しない
- 欧州の単位互換制度（ECTS）
 - 「学習量」を比較するための手段
 - 1学期の正規学修で30 単位を認定

■ カリキュラム開発

- 新システムへの移行時に集中的に議論
- 他のドイツまたは欧州のLISプログラムと比較可能に

学部方針の決定

- 2010年に開始
 - 3年間以上継続的に議論
 - 複数のワークショップを開催
 - すべての教授およびスタッフ
 - 各プログラムから選ばれた学生
 - 外部から専門家や進行役を招聘

■ はじめに：SWOT分析

■ 強み (S)

- プログラムがよく編成されていること，新たな敷地

■ 弱み (W)

- 他大学と比較して，あるいはシュトゥットガルトメディア大学内でさえも，プログラムの差別化がほとんどない

■ 脅威 (T)：上からも下からも

- 「企業内大学」が，会社と一体化した有料の学部課程を提供
- 財政状態のよい総合大学は，研究重視のプログラムを提供

■ 機会 (O)

- 職場環境の本質的変化と，卒業生のコンピテンシー [仕事をこなしていく行動特性] に対する期待

学部方針の決定

■ 検討方法

- 欧州で成功している応用科学大学の分析
- 教育管理やカリキュラム開発に研究関心をもつ教授を新採用

■ 成果

- 動的で変化しやすい職場環境に適応するような学生を準備するのに相応しいプログラム
 - 技術的知識と並んでソフト面の技能に焦点化
 - 学習者に焦点を当てた教育方法

学部方針の決定

■ 目標

- 学部レベルで「独自の売り提案」 (USP) をつくる
- 他の革新的大学から学ぶ

■ 実施された事項

- すべてのプログラムを完全に再構築
- 全プログラムの学生が「ソフト面の技能／キーとなる技能」の授業については付加的に履修できる
- 学際的なプロジェクトベースの学習を取り入れる

2016年に導入された新しい枠組み

個々のプログラムごとの
基礎的な技術的知識には
95単位の選択科目群が含まれる
(オリエンテーションを含む)

ソフト面の技能や
キーとなるコンピテンシーとして
プログラム間共通の25単位

Fachausbildung (studiengang-orientiert); 25 ECTS

インターンシップ学期
30単位

選択科目群
10単位

Praxissemester (studiengang-orientiert); 30 ECTS

プロジェクト
35 単位

Projekte, 35 ECTS

Transdisziplinäre Projekte
(übergreifend);
20 ECTS

Interdisziplinäre
Projekte
(übergreifend)
10 ECTS

Fachprojekte
5 ECTS

論文
15単位

WPM
5 ECTS

BA-
Kolloq.
3 ECTS

Bachelorarbeit
12 ECTS

LISプログラムの実施

- 必修科目群を減らす
- IT関連科目群は完全に再設計
 - プログラミング
 - データ処理および保存
 - ウェブ開発
- 専門性を志向した選択科目群
 - 図書館情報組織
 - 情報システム
 - 文化と教育
 - 公共経営

最新のカリキュラム変更

■ 2017年の状況

■ 入学者数の頭打ち

- 2008年以降，徐々にだが継続的に減少の傾向

■ 教授職が増えない

- 学部は職位の人数よりもプログラムの数を増やすように

■ 再認証プロセスが間近に迫る

- 現行カリキュラムの再評価の必要
- 審査者によって新たなアイデアが評価される可能性

→ 複数のワークショップを開き，変化のプロセスを一新

- 主たる疑問点
 - 「私たちの卒業生が職場に必要なコンピテンシーは何か」
- きっかけ
 - 図書館や情報センターなどからの求人募集
 - 外部専門家からの意見
- 成果
 - 重要度順にコンピテンシーやトピックをリスト化
 - 多様化する職場ニーズに対し，単一のカリキュラムでは対応できないことがわかった

- 主たる疑問点
 - 「個々の科目群でトピックやコンピテンシーをどのように配置することができるか」
- きっかけ
 - WS1での議論の結果
 - 他大学のカリキュラム
- 成果
 - 新たな科目群を作成し，トピックとコンピテンシーを明確に示した上でリスト化
 - 科目群を「必修」と「選択」に分け，2つのカリキュラムで構成する

「ブランドの再設定」プログラム：WS3

- 主たる疑問点
 - 「私たちのプログラムはどのようにして2つの異なるカリキュラムを提供できるか」
- きっかけ
 - WS1とWS2の結果
- 成果
 - 「情報科学」という新名称
 - 図書館はもはや唯一の焦点ではない
 - 1つのプログラムに2つの焦点領域
 - 図書館・文化・教育管理
 - データ・情報管理

得られた教訓

- プロセスの全体像が最初にくる
 - 明確な目標, 理解しやすい到達指標
- 焦点化が重要
 - ひとつの疑問点を考える。他のトピックと混同しない
 - 定例の集まりとは別にイベントを開催する
 - 資料を事前に準備する
- プロセスを進める
 - WS直後にすべての資料を利用できるように
 - 次のWSのための課題を明示する
 - WSは間を置かずに行う

結論と論点

現在のカリキュラム

	共通する必修科目群 55単位		IT-Grundlagen und Einführung ins Programmieren	Wissen Grund	ソフト面の技能 キー・コンピテンシー オリエンテーション 30単位
2	Angebots- und Dienstleistungsentwicklung	Medienschließung	Web-Technologien	Lernen und Lehren	Wissen Grund
Schwerpunkt B					
3	Informationssysteme und Geschäftsprozesse	Cultural Heritage, Digitalisierung	management		Soziale und kulturelle Kontexte
4	Open Society	Architektur und Einrichtung	Wahlpflicht		Tools for Working
Schwerpunkt					
3	Informationssysteme und Geschäftsprozesse	Cultural Heritage, Digitalisierung	Wahlpflicht		Tools for Working
4	Open Society	Wahlpflicht		Wahlpflicht	
5	Praktisches Studiensemester				
6	Interdisziplinäres Projektstudium				Wahlpflicht
7	Interdisziplinäres Projektstudium		Wahlpflicht	Wahlpflicht	
7	Bachelorarbeit				論文 15単位

新カリキュラム：必修科目群

- 1学期
 - マーケットと顧客
 - 情報の枠組みと研究
 - ITの基礎とプログラミングの初歩
 - 科学的手法1
 - オリエンテーション

新カリキュラム：必修科目群

- 2学期
 - 情報サービス開発
 - 目録
 - 学習と教え
 - ウェブ技術
 - 科学的手法2
 - ソフト面の技能：働き方

新カリキュラム：必修科目群

- 3学期・4学期共通科目群
 - 文化遺産とデジタル化
 - 情報システムとビジネス・プロセス
 - オープン・ソサイエティ

- ソフト面の技能：働くためのツール
- ソフト面の技能：メディア世界で働く

新カリキュラム：必修科目群

- 3学期・4学期 特定の科目群
- 図書館・文化・教育
 - 公共経営・文化経営
 - 社会的・文化的文脈
 - 建築・設備
- データ・情報管理
 - データ・データ統合
 - ウェブ・プログラミング
 - メタデータ管理

新カリキュラム：選択科目群

- 専門的な情報源
- 高度な記述目録
- 高度な主題目録
- 専門機関・利用対象・サービス
- 特殊コレクション
- 音楽・音楽情報源・音楽情報
- 著作権管理・電子情報源のマーケティング
- ネット・コミュニティと市民科学
- サービスのモニタリングと評価
- 文化機関における標準的なソフトウェア
- 教育的展望
- 知識・文書管理
- 図書館や文化・教育機関向けの管理ツール
- 顧客志向，サービス設計，質的管理
- 国際的視点

新カリキュラム：選択科目群

- 図書館・文化・教育
 - 文化的媒介
 - メディア分析（映画，文学，デジタルゲーム，映像を活用した物語）
 - メディアの歴史（映画，文学，デジタルゲーム，映像を活用した物語）
 - マーケティングとPR活動
 - 子どもや青少年向けのメディア
 - メディア教育
 - 図書館教育

新カリキュラム：選択科目群

- データ・情報管理
 - 研究支援サービス
 - データ・テキスト分析
 - オープンガバメント・オープンデータ
 - データベース
 - 情報検索
 - IT管理
 - ソフトウェア開発